

平成23年3月診療分(4月提出分)に係る
国保、後期高齢者医療の紙レセプトの提出方法

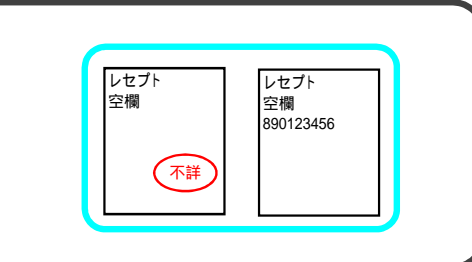
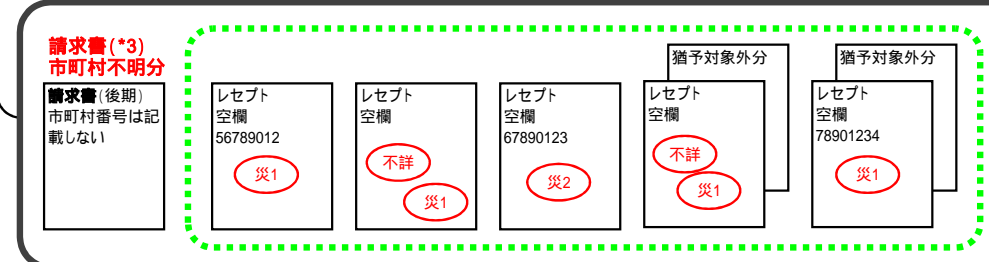
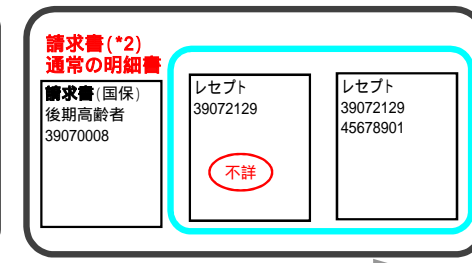
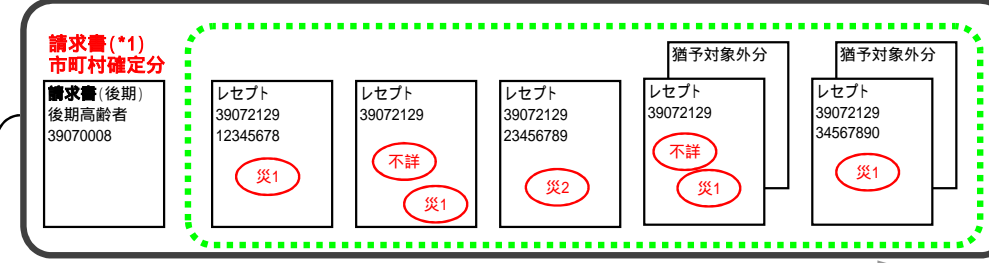
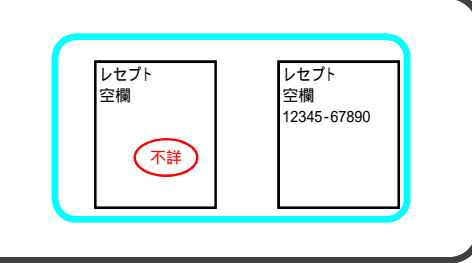
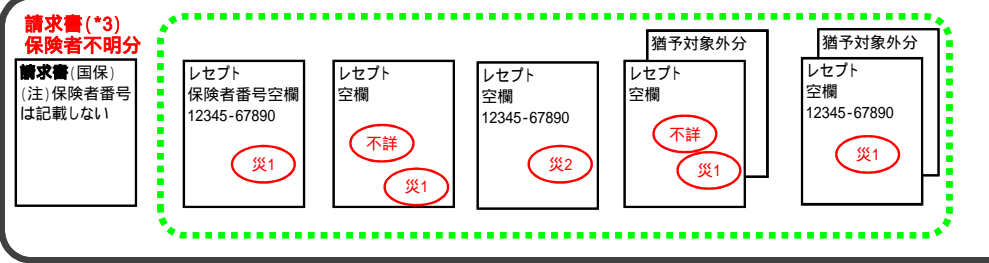
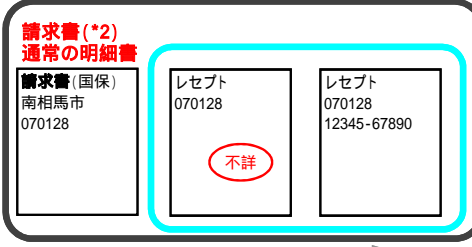
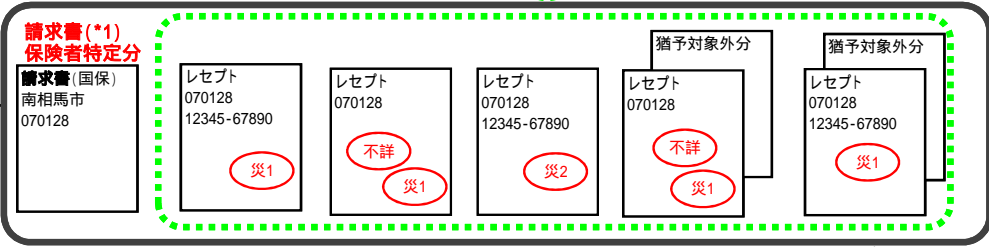
一部負担金の猶予措置等に係る明細書

通常の明細書

提出方法等の説明

総括票(国保)
保険者不明分の件数、日数、点数等は一般被保険者へ合算してください。

総括票(後期)
保険者不明分の件数、日数、点数等は後期高齢者医療欄へ合算してください。



総括票の記入方法
・現行通りとします。

請求書の記入方法
・保険者不明分の保険者番号欄については、記載をせず、空欄のまま提出願います。
・レセプトの本人入外区分及び給付割合に該当する区分に件数、日数、点数、を記載してください。

レセプトの記入方法
・「災1」「災2」「不詳」は、レセプト欄外右上に赤字で丸囲み記入してください。
・保険者(市町村)不明分は、国保、後期高齢者医療分とも、保険者番号欄は記載をせず、住所又は事業所名を患者に確認している場合にはその連絡先をレセプトの欄外上部に記載して提出願います。
・「不詳」分は被保険者証記号・番号欄は記載をせず、空欄のまま提出願います。

・本人入外区分または給付割合が不明の場合、国保は、生年月日より高齢受給者に該当するレセプトの入院は「7高入」、外来は「8高外」を、その他のレセプトの入院は「1本入」、外来は「2本外」を、後期高齢者の入院は「7高入」、外来は「8高外」をそれぞれ丸で囲んでください。

請求書及びレセプトの綴り方
・保険者毎に、猶予措置等に係る明細書のうち、保険者特定分で1請求書(請求書(*1))、通常の明細書で1請求書(請求書(*2))をそれぞれ作成願います。

・保険者不明分については、上記請求書とは別に1請求書(請求書(*3))を作成して下さい。
・同一の患者について、猶予措置等に係る明細書と猶予措置等の対象とならない明細書がある場合には、双方を2枚1組にして、レセプト左上をホチキス止めしてください。

・レセプトの綴り順については、診療報酬請求書の各区分順(一般高齢9割、7割、一般被保険者7割、8割、9割、10割、退職本人...)とし、かつ、各区分毎に左記のとおりレセプトを綴り請求願います。